もっと はんのう 市議会

令和8(2026)年11月1日号　No.181



Point

P2　令和７年度一般会計・特別会計・公営企業会計を認定

P8　１５人の議員が一般質問

令和7年度 決算審査

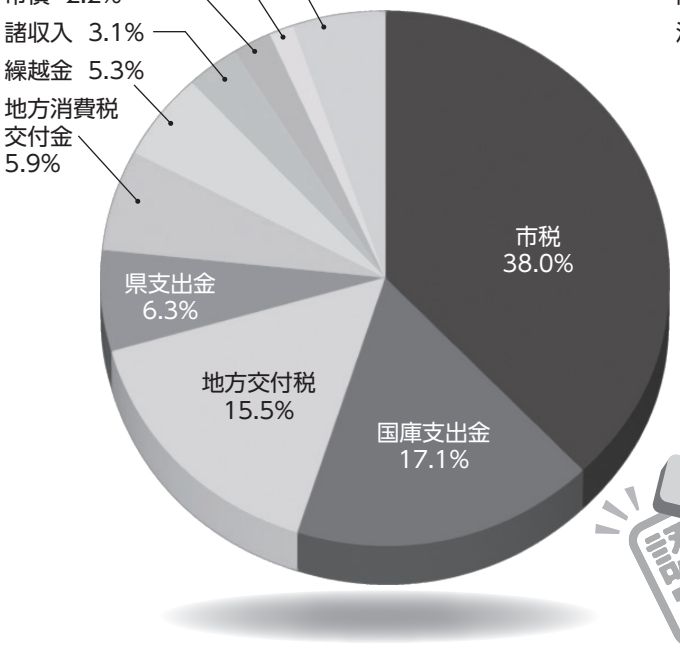
今定例会に市長から提出された令和７年度一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算について、**歳入歳出予算の執行**が正しく行われたか慎重に審査し、本会議、委員会でいずれも認定いたしました。

主な内容は次のとおりです。

一般会計歳入決算

349億2,021万6,919円

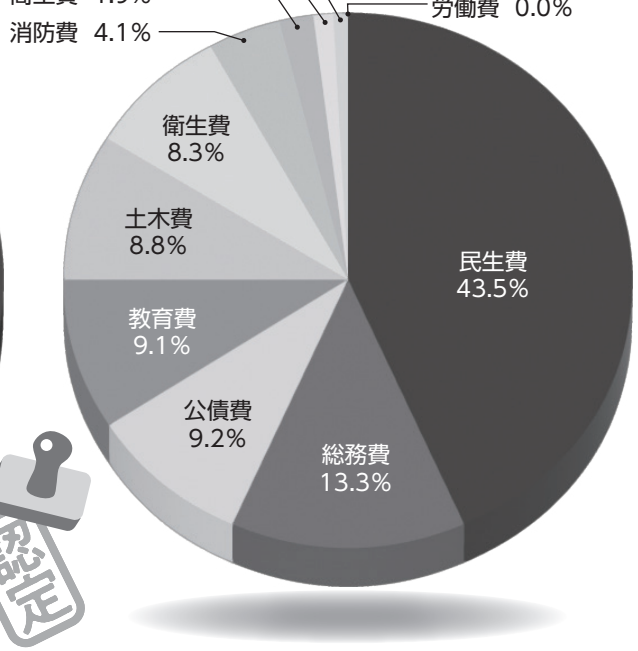
※割合(%)は端数調整しています。



一般会計歳出決算

330億3,709万6,655円

※割合(%)は端数調整しています。



討　論

▼反対の立場

90歳表彰を廃止したこと、阿須山中の市有地を年間120万円で貸し続けていること、保育所給食調理業務が民間委託になじまないこと、農林水産物加工直売所は市民のための施設となっていない、久下六道線は事業の進捗が見られず地域や商店街の活性化につながらないことなどから反対する。

▼賛成の立場

農林産物加工直売所は名栗地区の活性化や山間地域の雇用確保、経済対策として整備された地域にとって重要な施設であること、久下六道線は中心市街地の活性化や歩行者、車両の安全確保のために必要な道路であることから賛成する。

特別会計・公営企業会計も全て認定しました。

特別会計		歳　入	歳　出
	国民健康保険（事業勘定）	83億643万4,182円	82億2,267万3,100円
	国民健康保険（南高麗診療所勘定）	6,487万7,897円	6,240万2,112円
	国民健康保険（名栗診療所勘定）	6,339万9,119円	5,906万259円
	笠縫土地区画整理	4億6,714万4,950円	4億5,104万8,538円
	双柳南部土地区画整理	3億4,323万1,908円	3億2,331万9,495円
	岩沢北部土地区画整理	2億9,122万8,947円	2億7,532万8,540円
	岩沢南部土地区画整理	3億9,386万8,194円	3億6,354万5,236円
	介護保険	75億4,517万8,600円	72億3,719万428円
	後期高齢者医療	14億7,130万8,026円	14億6,653万7,822円
	訪問看護ステーション	3,996万9,738円	3,888万6,423円
公営企業会計		収　入	支　出
	水道事業　収益的	19億2,365万9,440円	18億3,964万9,757円
	水道事業　資本的	5億6,046万349円	11億7,921万1,971円
	下水道事業　収益的	20億2,811万3,980円	20億484万8,437円
	下水道事業　資本的	4億8,101万7,260円	9億6,903万952円

令和7年度歳入歳出決算の審査!!

一般会計



市税収入

問 個人市民税、法人市民税の動向は？

答 個人市民税は４８億2,319万円、前年度比11.7％の増加。法人市民税は9億2,079万5,200円、前年度比11.7％の増加。



こどもの生活・学習支援

問 こどもの生活・学習支援補助金の内容は？

答 ひとり親等の子どもの大学、短期大学、専門学校等の受験料の一部を補助するもので、令和７年度も申請があった。上限額は5万3,000円である。



放課後児童クラブ

問 事業の成果は？

答 双柳どんぐりクラブの開設、加治東くりの子クラブ、美杉台児童クラブ室と美杉台児童クラブムックの支援単位の増設等を行い、美杉台地区の待機児童を解消した。



有馬エリア水源保全プロジェクト

問 内容と成果は？

答 針広混交林化を通じて、生物多様性の復元、水源涵養及び土砂流出防止機能の回復を目指すもの。対象地の間伐、鹿害対策の柵の設置、生物モニタリング等を実施。



久下六道線整備事業

問 事業の成果は？

答 道路幅杭を設置したことで、各地権者の土地との買収面積を明確にし、土地鑑定によって買収単価を明らかにした。また、一部地権者の物件調査を行い、物件移転補償を算出した。



教育相談事業

問 教育相談事業の実績は？

答 不登校児童・生徒だけでなく、保護者への支援も同時に進め、保護者の不安や悩み等を共有し、その対応を考える交流会を２回開催した。

介護会計



介護保険

問 介護サービスの利用状況は？

答 給付費に占める割合は、施設サービスが48.6％で、県平均の33.9％や全国平均の３２％と比較して高くなっている。認定率は16.8％、サービス利用率は80.2％である。

後期高齢者医療会計



後期高齢者医療

問 予防医療の強化の状況は？

答 健康寿命延伸に向けた予防医療の強化として、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施により、後期高齢者の健康維持及びフレイル予防に努めている。

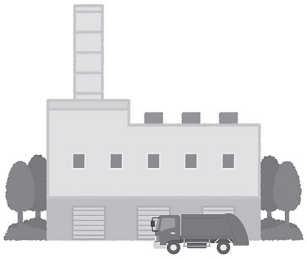
議案の審議

議案に対し大綱（根本的な事柄）で審議します。

9月議会は、9月４日から９月２９日までの２６日間開かれ、市長提出議案３０件、議員提出議案３件、請願２件、その他２件について審議等を行い、全て**議決**しました。9月議会で議決した主な議案は、次のとおりです。

全ての議案はこちらから

【議案第６８号】飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例



問 改正の内容は？

答 令和9年4月1日から事業系一般廃棄物等の処分手数料を10キログラムにつき200円から300円へ改定するもの。
また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部が改正されたことに伴い、同法の規定を引用する条項を整理するもの。

【議案第６９号】令和８年度飯能市一般会計補正予算（第２号）
・物価高対応重点支援地方創成臨時交付金



問 交付金の概要と補正内容は？

答 地方自治体がエネルギー・食品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的として実施する事業に対して活用できる国庫補助金であり、本市分は3，043万1，000円で、水道基本料金の1か月分免除に要する費用の一部として水道事業会計へ支出等するもの。

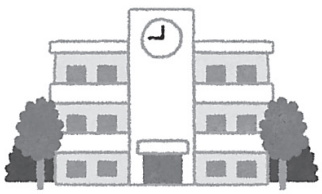
・保育所施設管理事業



問 増額補正の内容は？

答 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市の緊急経済対策における事業者支援として、保育所防犯対策強化事業に係る経費で、加治保育所と原市場保育所に防犯カメラ等を設置するための工事請負費を計上するもの。

【議案第８０号】契約の締結について（飯能第一小学校校舎南棟等解体工事）



問 工事の内容は？

答 既存校舎南棟解体工事、その他付属施設等解体工事、外構解体工事のほか、これらの工事に伴う内装、電気設備・機械設備解体工事、既存渡り廊下改修工事を実施するもの。また、学校・放課後児童クラブを運営しながら実施する工事であるため、工事エリアの外周を仮囲いで囲い、児童等と工事エリアを分離し、安全を図るもの。

議 決

委員会の審査

各常任委員会に付託され、詳細に審査します。

議案の審議を経て、議案は３つの常任委員会に付託され、詳細に審査しました。

総務教育委員会

委員長　武田　一宏
副委員長　新井　巧
委員　山口　則弘
岩田　隆弘
坂井　悦子
中元　太
椙田　博之

令和８年度飯能市一般会計補正予算（第２号）

問 小学校施設管理事業の内容は？

答 美杉台小学校体育館放送設備修繕等の修繕料と富士見小学校ほか3校の避難器具更新工事及び原市場小学校の鉄棒更新工事に要する工事請負費を計上するもの。

財産の減額貸付について（旧東吾野小学校土地及び建物）

問 貸付の内容は？

答 旧飯能市立東吾野小学校の土地及び建物を、学校法人早稲田学園に減額して貸付けるもの。貸付けの期間は令和8年10月1日から令和９年３月31日、月額674,000円で貸付ける。

生活福祉委員会

委員長　熊田　尚子
副委員長　パタソンひとみ
委員　美齊津大貴
長谷川順子
金子　敏江
鳥居　誠明

令和８年度飯能市一般会計補正予算（第２号）

問 地区行政センター施設管理事業の内容は？

答 飯能中央、精明、加治東、東吾野及び名栗地区行政センターの修繕、双柳地区行政センターについては、数年前から雨漏りが生じていることから屋根の改修工事を行うもの。

問 住まいの防犯対策費補助金の内容は？

答 家庭用防犯カメラ、録画機能付きインターホン、人感センサーライト等を対象とし、補助対象経費の2分の1乗じて得た額で1世帯1万円を上限とし、700世帯見込んでいるもの。

経済建設委員会

委員長　関田　直子
副委員長　小野　まり
委員　栗原　義幸
滝沢　修
平沼　弘
加涌　弘貴

令和８年度飯能市一般会計補正予算（第２号）

問 農業担い手育成事業の内容は？

答 物価高騰の影響を受けて、就農直後の不安定な時期を支えるため、経営開始資金で事業展開している方への増額補正を行うもの。

令和８年度飯能市水道事業会計補正予算（第１号）

問 補正の内容は？

答 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した緊急経済対策として、水道基本料金1か月分を免除するもので、10月検針分と11月検針分が免除対象。

令和８年９月定例会　議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員、「退」は退席の議員、「除」は除斥の議員
議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名＼議席番号・議員名	1 小野まり	2 山口則弘	3 岩田隆弘	4 美齊津大貴	5 熊田尚子	6 長谷川順子	7 パタンひとみ	8 武田一宏	9 関田直子	10 坂井悦子	11 栗原義幸	12 中元太	13 滝沢修	14 新井巧	15 金子敏江	16 平沼弘	17 椙田博之	18 鳥居誠明	19 加涌弘貴	議決結果
議提5	岩田隆弘議員に対する問責決議	×	退	除	○	○	退	○	○	○	○	－	○	退	退	退	○	○	○	○	原案可決
68	飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
83	令和７年度飯能市下水道事業未処分利益剰余金の処分について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	原案可決
認定1	令和７年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	認　定
認定2	令和７年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	認　定
認定3	令和７年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	認　定
認定4	令和７年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	認　定
認定5	令和７年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	認　定
認定6	令和７年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	認　定
認定8	令和７年度飯能市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	認　定
認定10	令和７年度飯能市水道事業決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	認　定
認定11	令和７年度飯能市下水道事業決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	○	○	認　定
請願4	阿須山中土地有効活用事業に関する事業者選定・事業スキーム及び行政執行の検証を求める請願	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	－	×	○	○	○	×	×	×	×	不採択

※栗原議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
69	令和８年度飯能市一般会計補正予算（第２号）	原案可決
70	令和８年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	原案可決
71	令和８年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
72	令和８年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
73	令和８年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第１号）	原案可決
74	令和８年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第２号）	原案可決
75	令和８年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
76	令和８年度飯能市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決
77	令和８年度飯能市水道事業会計補正予算（第１号）	原案可決
78	市道路線の認定について（大字下加治、大字小久保、大字平松、大字双柳地内）	原案可決
79	市道路線の認定について（大字川寺地内）	原案可決
80	契約の締結について（飯能第一小学校校舎南棟等解体工事）	原案可決
81	財産の減額貸付について（旧東吾野小学校土地及び建物）	原案可決
82	財産の取得について（クリーンセンター消耗部品）	原案可決
認定７	令和７年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
認定９	令和７年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
請願５	「建設資材供給不安の解消並びに中小建設事業者の事業継続支援制度の創設を求める国への意見書」を求める請願書	趣旨採択
84	教育委員会委員の任命について（五江渕　幸子氏）	同　意
85	監査委員の選任について（市川　昭氏）	同　意
86	固定資産評価審査委員会委員の選任について（小金井　千秋氏）	同　意
議提３	「防災庁」発足を見据えた地方公共団体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書	原案可決
議提４	交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備についての意見書	原案可決
	特定事件の閉会中における継続審査申し出の件（議会運営委員会・総務教育委員会・生活福祉委員会・経済建設委員会）	申出書のとおり
	議員派遣の件	派　遣

人事案件

教育委員会委員の任命について



五江渕　幸子 氏

教育委員会委員　五江渕幸子氏が任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。

監査委員の選任について



市川　昭 氏

監査委員　森健二氏が任期満了となるので、新たに市川昭氏が選任することについて、全員同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任について



小金井　千秋 氏

固定資産評価審査委員会委員　小金井千秋氏が任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。

声の議会だより

（市議会だよりの音声版）

音訳ボランティアグループ「ひびき」さんのご協力により、市議会だよりを音訳していただいた「声の議会だより」を飯能市ホームページに掲載しています。

市民から市議会へ提出（9月定例会）

請願

阿須山中土地有効活用事業に関する事業者選定・事業スキーム及び行政執行の検証を求める請願

提出者　大野　英夫
大林　聖弥
不採択（多数）

「建設資材供給不安の解消並びに中小建設事業者の事業継続支援制度の創設を求める国への意見書」を求める請願書

提出者　埼玉土建一般労働組合飯能日高支部
支部長　柳戸　浩幸
趣旨採択（全員）

陳情

陳情書（阿須山中市有林活用事業に関する契約運用の検証および説明責任の強化について）

提出者　大野　英夫

市議会から国等へ提出（9月定例会）

「防災庁」発足を見据えた地方公共団体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書

交通事故等による被害を受けた胎児に係る法整備についての意見書

決議（9月定例会）

岩田隆弘議員に対する問責決議

岩田隆弘議員は令和8年3月定例会にて、個人名の特定や肖像権・プライバシー侵害に当たる発言を行い、地方自治法第132条違反として議長から発言取消し等の命令を受けました。しかし、その後も会派「シビックプライド飯能」から議長及び議会運営委員長へ議事整理権執行に対する内容証明郵便での抗議や、チラシ・SNS等を通じて「議会運営に不備がある」かのような事実と異なる主張を繰り返し、とりわけ「飯能市の議事運営・進行が問題です。公正で開かれた議会運営を」と題されたチラシについては、議会運営委員会で撤回及び陳謝を決定後も市内に頒布し続けた行為は、議員としての倫理観を欠き、議会制度の信頼と品位を著しく損ねたとして容認できるものではありません。

岩田議員に対し、猛省を促すとともに、今後、議会運営の秩序を乱すような行為を慎むよう強く求めるための決議案が提出され、賛成多数で可決されました。

※決議の内容を要約しています。

りそなキッズマネーアカデミー

8月5日、りそなキッズマネーアカデミーが開催されました。議場の見学、議会事務局職員による議場内の説明、その後に市長、議長からそれぞれ市役所や市議会の役割についてお話をいただきました。



市政に対する 一般質問



飯能市イメージキャラクター
夢馬（むーま）

一般質問とは、市の行政全般について市長（執行部）に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。本会議における持ち時間は１人６０分以内です。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は 15 人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されている二次元コードから、該当議員の動画をご覧いただけます。

（　　）の中は会派名です。

楫田　博之（風の会）

緊急財政対策の見通しは　新たな歳入源は　熊対策はどうなっているか　学校規模の適正化は



問 緊急財政対策の財政調整、減債両基金の残高の見込みは。

答 今年度末の残高は、合計21億円の見込み。

問 久喜市では、財政緊急対策で新規職員の採用試験を前日に取りやめたが、本市は大丈夫か。

答 人件費は抑えながらも新規採用は継続したい。

問 ネーミングライツの取り組みについてどう考えているか。

答 安定的な行財政運営の一助となり、市民サービスの向上やスポンサー企業の宣伝効果にもなる。その他の歳入源は考えているか。

問 施設使用料や各種手数料など受益者負担の原則で見直したり、ふるさと納税や企業誘致の強化で税収基盤の強化を図りたい。

答 熊対策の取り組みはどうか。

問 目撃情報の注意喚起や講習会、放任果樹の伐採等をしていく。また、10月13日15時30分から名栗小で熊対策訓練を行う。



クマ対策グッズ・音と閃光の体験会
（出典：飯能市自治会連合会　名栗支部）

問 本年度、学校規模と配置の適正化の基本方針を策定するとは。

答 少子化が続く見込みなので、質の高い学びのために、ここで見直そうとするものである。

問 適正化の対象校はどこか。

答 まだ決まってない。今年度アンケート等を実施したい。

問 名栗小の場合、他市からも入ってきて増加している学校もある。考慮したい。

答 ＰＲ大使の決め方は。

問 まず本人からの申し出が必要。



武田　一宏（ネクストはんのう）

避難指示と避難所開設について　飯能市カスタマーハラスメント防止に関する基本方針について

問 避難指示レベル4が発令された8月13日の避難状況は。

答 13の地区行政センターを避難所として開設、避難者は18名。

問 避難所の運営体制は。

答 各地区行政センター職員が現地対策班職員として配置される。昨今の状況を鑑み、人数の見直しを含め改善をしていく。

問 夜間の避難指示は危険でないか。

答 夜間の指示は問題であった。二次災害の危険性があるため、今後は早めの判断をする。

問 飯能市カスハラ防止に関する基本方針策定の経緯と背景は。

答 業務の際に一定の市民より職員の人格の否定や尊厳を傷つける、社会通念上許容される範囲を超える言動が増加、職場環境の悪化や通常業務の支障、職員の精神的負担が課題となっていたことから策定に至った。

問 策定の効果は。

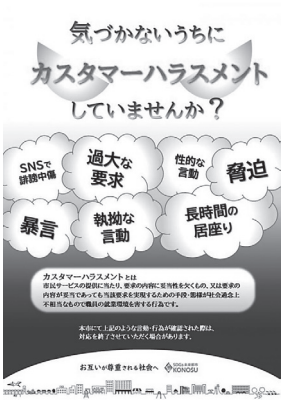
答 カスハラに該当する行為に対し基本方針に基づき組織的に対応することができ、業務への影響が減少した。職員より精神的負担が軽減したとの声もあった。

問 市民からの正当な申入れとカスハラの区別はどのように行うか。

答 研修の実施等により正当な申し入れを尊重できるようにする。

問 市役所だけに限らず市全体でカスハラ対策に取り組むべきでは。

答 飯能商工会議所と市役所とで連携し、飯能市全体のカスハラ防止に取り組む承認を得られた。



カスタマーハラスメントに対する鴻巣市の取り組みチラシ
（出典：鴻巣市ＨＰ）



山口　則弘（日本共産党）

学力調査の課題について　教職員の増員について　学校の統廃合について　二つの市民要望

問 全国学力調査でＳＮＳ利用増と学習・読書減が見られた。飯能市の状況はどうか。

答 全国と同様に長時間利用が増加し学習と学力に影響している。

問 低学年の発達に応じた端末利用を検討する場は今後有るのか。

答 近隣自治体を調査し担当者研修で課題を議論していく。

問 学び合い学習が本当に学びの改革になっているのか質問調査だけでなく教員や保護者の声を加味して検証すべきではないか。

答 保護者や市民に教育的意義や成果を説明することも必要であると考え情報発信していく。

問 いじめ・多様な支援に対応できる学校にする為、人的配置が必要だ。どう充実させるつもりか。

答 サポートルーム支援員を増やしてきた。県への要望は継続する。外部人材やＩＴ化で充実させる。

問 学校規模の適正化は統合を前提とせず地域に合わせて検討できるはず。無理に統合してないか。

答 統廃合ありきではなく、地域の声を聞き方針を策定する。

問 名栗小の熊対策では市の責任で送迎車両を確保できないのか。

答 学校、地域、関係部署が連携し、マニュアルに基づいて対策を検討する。

問 第一小のナンジャモンジャの木伐採に対して教育的配慮をどう検討しているのか。

答 ＰＴＡから遊具などに活用したいと提案があり、協力していく。





左：ナンジャモンジャの木（本人撮影）
右：一小のシンボルツリー（出典：飯能第一小学校ＨＰ）



滝沢　修（日本共産党）

財政調整基金が14億6，000万円となった令和7年度決算緊急財政対策は見直すべき

問　市は、7年度は財政調整基金が4億円となり枯渇する、7・8年度に緊急財政対策を行うとしたが、7年度決算で財政調整基金は14億6千万円となった。なぜ、この様な報告を行ったのか。

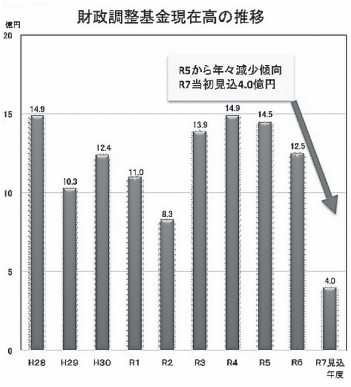
答　緊急財政対策プランへの記載、また、対外的な説明等でも財政調整基金の7年度末残高見込みは約4億円となり、ほぼ枯渇するという説明をしてきた。説明や資料掲載が十分でなかったことは、改めてお詫びする。

問　7年度は緊急財政対策を行わなくても、財政調整基金がこの様な金額となった経緯は。

答　6年度の実質収支から、9月補正で8億5千万円を戻し、その後普通交付税の再算定により残高が14億6千万円まで回復した。当初4億円と見込んだが、10億円も増となったのは、見込みの甘さや説明不足があったものと考えている、重ねてお詫びする。

問　令和7年度は財政調整基金が6年度よりも2億円以上増加した。さらに8年度末には財政調整基金が増え標準財政規模の10％が確保できるようだ。令和9年度へ向けて市民の負担軽減のため休止してきた事業などの復活をすべきではないか。

答　所属別に予算枠を設け、各分野の計画等に掲げた目標達成や課題解決に効果的な事業を厳選することで、事業の見直しもされていくものと考えている。



緊急財政対策（市民説明会資料）



岩田　隆弘（シビックプライド飯能）

公共事業と利益相反　公人が関わる補償と透明性　市民が確認できる仕組みを

問　公的な立場にある方が、市の公共事業で自らの土地や建物の補償対象となる場合、利益相反を避けるための手続きや記録はどのように行うのか。

答　首長本人との契約は、形式的な観点から利益相反とみなされる可能性があり、権限を委任した者と契約するなどの対応が必要となる。補償自体は損失への補償で、国や県の基準に基づき算定している。

問　補償金額が非開示のままでは、市民がその適正性を確認することが難しい。市民への説明責任を十分に果たしていると言えるのか。

答　地方自治法の規定と、補償金額を非開示とする個人情報保護の問題は、別の視点で考えなければならないと認識している。附帯決議は緊急財政対策の状況を踏まえたものと認識している。

問　公的な立場にある方が補償対象となった場合、事実関係や本人の関与の有無を市民に説明し、開示できる情報を示す考えはないか、市長に伺う。

答　各手続きについては、規定の手続きや基準等に沿って進めたものである。市長としては、今回の質問を非常に心外に感じている。執行部からの答弁を聞き、誤解を改められたものと推察する。


本人撮影



関田　直子（ネクストはんのう）

給食費無償化の公平な制度の実現に向けて　発達性読み書き障害の指導体制　学校跡地利活用

問　食物アレルギー等で給食を食べることができない非喫食者に対する支援は。

答　財源は給食費負担軽減交付金。県と調整し、他の自治体も参考に要綱を定め今年度内の支援実施を目指し準備中。

問　支援対象となる非喫食者の基準はあるのか。

答　文部科学省が示すやむを得ない事情の例を参考に、対象となるか否かについて判断する。

問　知的能力に問題はないが、読み書きに著しい困難が生じる発達性読み書き障害は気づかれにくく早期の発見が必要。教育施策として専門的な検査の検討を。

答　専門家の知見や先進自治体の取組を参考に専門的な検査の活用を含め、早期発見・早期支援に向け研究する。

問　適切な合理的配慮の為、言語聴覚士等による教職員研修及び専門家配置の検討を。

答　教職員に対し特性や必要な支援方法についての周知を図る。言語聴覚士等による研修会の実施についても検討し、教職員の専門性の向上に努める。

問　旧吾野小学校及び旧名栗中学校の利活用に向けた現状は。

答　「みんなの廃校プロジェクト」を通じ今年度は12者から問い合わせがあった。サウンディング型市場調査を実施し課題や条件を把握し地域のご意見を踏まえ、基本的な方針を整理する。



発達性読み書き障害の特徴（本人作成）



平沼　弘（風の会）

水道事業の現状は　自己水源の持つ意義と課題　水源林の重要性と維持管理

問　市の水道事業の普及と今後の事業運営と計画は。

答　昭和7年、県内3番目の事業として給水を開始し、普及率は99.2％である。今後は、人口減少に伴う水道使用量の減少、施設の老朽化、自然災害、水源環境の変化などに対応し、飯能市水道ビジョンのもと、持続可能な事業の構築に取り組んで行く。

問　取水は自己水源であるが、その意義と課題は。

答　県水を除いて、87％が入間川、高麗川からの自己水源である。取水・浄水施設が5か所ずつあり、安定した水源を確保できている。県水との組み合わせで、災害や渇水などの水源リスクを分散できる。しかし、維持管理に人員や経費がかかる。

問　水源林とは、その管理方法は。

答　水源涵養機能を有する森林で県より指定されて、川の水源環境を守る責務がある。市有林は公費等で間伐などの水源保全に取り組んでいるが、私有林は整備が行き届かない森林も多く、水源涵養機能が低下している状況である。



両吾野浄水場取水口（本人撮影）

問　森林環境譲与税を充当すべきではないか。

答　私有林の整備に林業事業者に「特定間伐等推進補助金」を用意している。今後、「森林境界明確化事業」などに森林環境譲与税を充当し、事業者が施業しやすい環境の整備に取り組んで行く。



新井　巧（日本共産党）

市財政は健全　市民サービスを削る必要はなかった

問 令和6年度決算は、17．8億円、7年度は18．3億円の黒字。財政調整基金も7年度末に18．7億円、9月補正後には23．2億円となる。財政調整基金の減少だけで「財政危機」と判断することは適当なのか。「緊急財政対策」は本当に必要だったのか。

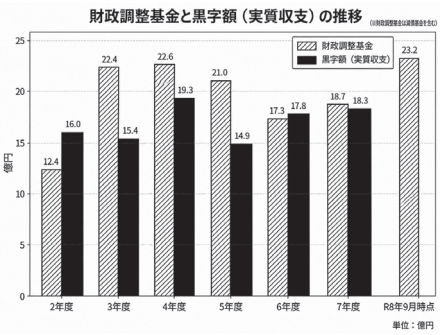
答 財政健全化法の基準では健全な数値だが、これは現時点のもの。今後、飯能第一小学校の建替えやインフラ更新などに多額の費用が必要になる。財政調整基金の枯渇を防ぐため、緊急財政対策を実施した。

問 将来への備えを理由に市民サービスを削減し、基金を積み増すことは、現在の市民に負担を集中させることになる。市民サービスを削減したことで、7年度決算が18億円を超える黒字となり誤解してる市民もいる。12億円の歳出削減の影響が8年度にどう表れるのか。

答 8年度当初予算を財政調整基金に過度に頼らず編成できたことが成果。財政対策プランの効果は、8年度決算で検証する。

問 財政調整基金の目標額がほぼ見通せる状況となった。縮小・休止した市民サービスや事業を復活させる考えはないか。

答 財源の有効活用を図り、関係者や関係団体の皆さまと対話しながら、今後の補正予算で縮小・休止している事業の必要性を検証していきたい。



市財政は健全です（本人作成）



長谷川　順子（無所属）

学校適正規模化・小規模特認校　系統用蓄電池設置条例策定へ　阿須山中・包括施設管理業務

問 学校の規模適正化の基本方針策定のためのアンケート調査は、市内全児童生徒対象に行うのか。

答 小規模校の児童生徒やその保護者、教職員等、今後入学予定の未就学児の保護者を対象に実施。

問 小規模特認校を必要としている児童生徒にもっとPRすべき。

答 制度の目的と共に周知を図っていく。

問 市農業委員会の全委員が不許可相当として県へ進達した事業に対し、県が農転許可を判断に至った理由について。

答 申請者に不足資料を要求し、メンテナンススペースを利用する計画図が示されたため。

問 太陽光発電条例同様、蓄電池にも条例策定が必要と考えるが。

答 設置基準を定めた条例策定の考えは現時点ではない。

問 旧HISAの事業提案書にあった事業スキームを公文書開示請求で黒塗りにしたのはなぜか。

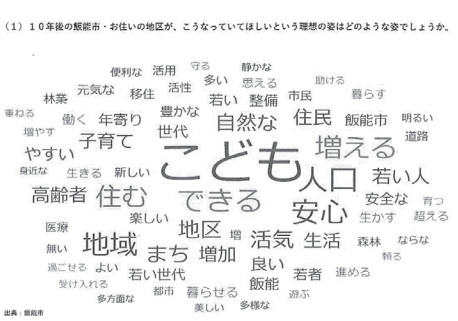
答 係争中につき答弁を控える。

問 民間提案制度では入札を行わず対象事業者と随意契約を基本とする根拠の具体的な条項は。

答 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号。

問 参加表明提出は代表者のみでよいが、提案後の構成員又は役割を変更する時の基準は何か。

答 実績や資格、実務実施能力などを確認。変更前と同等以上の能力を有しているかで判断する。



「市民の望む10年後の飯能市」
（出典：R6　市長ミーティング市民アンケート調査結果）



美齊津　大貴（風の会）

奥武蔵ブランド
ロケーションサービスについて

問 奥武蔵ロングトレイルコースの一つには、累計標高が8，300m級、エベレストの標高が約8，848mのため、エベレスト並みの標高を駆け上がったことになり、全国のトレイルランナーにとって聖地となっている。このように奥武蔵飯能には豊かな自然を活かした観光資源が充実している。今後、「奥武蔵」ブランドをどのように周知・PRし、交流人口の増加につなげていくことを考えていくのか。

答 実際に飯能市の山を訪れている方の中には「奥武蔵」を山と捉え訪れている方も多くいると考えられる。登山、ハイキング、トレイルランニングを楽しむ方へのPRとして「奥武蔵」というブランドを活用することは重要であると考えている。

問 飯能市でも「ロケーションサービス」に取り組んでいるが、ロケーションサービスに取り組む意義や取り組むことのメリットをどのようにとらえているのか。

答 映画やドラマ、CMの撮影を受け入れるにあたっては、撮影スタッフや出演者などの宿泊先やロケ弁、ケータリングなどのお弁当、飲食など地域経済への波及が期待される。



本人作成



熊田　尚子（公明党）

切れ目のない子育て支援
不登校支援の充実
避難所運営と防災対策の充実

問 宿泊型産後ケアの市内施設開設と利用回数の拡充を。

答 来年度以降の市内宿泊型施設開設に向け具体的な受け入れ体制について協議を進める。利用回数の拡充についても検討する。

問 5歳児健診を導入しては。

答 早期実施に向けて具体的に検討、実施体制や健診後の支援、就学への円滑な接続について検討を進める。

問 浅間保育所民間運営化による財政効果を、保育・子育て支援の充実につなげては。

答 民間運営とした場合、市の一般財源負担は同程度の運営費であれば現在の約4分の1になると見込んでいる。生み出された財源の活用については、今後の施策や予算編成の中で検討する。

問 不登校支援、スペシャルサポートルーム（SSR）への支援員を必要な全校に配置しては。

答 支援員は子どもだけでなく教職員にとっても重要。厳しい財政状況ではあるがSSRを設置する全校への支援員配置を目指す。


避難所開設訓練（本人撮影）

問 災害時に必要となる乳幼児用備蓄を充実させては。

答 粉ミルク、液体ミルクの他、離乳食の備蓄を今後調整していく。

問 住民主体で地域を守る避難所運営に備え、マニュアルや鍵の保管場所を改めて周知しては。

答 各地区の自主防災組織に対して避難所運営マニュアル作成や鍵の管理について改めて周知する。



中元　太（公明党）

避難所体育館空調整備公約では
学校に潜む隠れたカリキュラム
行政センターの有料化は慎重に

問　猛暑が常態化した夏の校庭、季節を選ばない自然災害。真夏や真冬に避難した高齢者や幼い命は耐えられない。国の臨時特例交付金を使い学校体育館に直ちにエアコン設置すべきでは。

答　**児童生徒の教育環境の確保と市民の命を守る上でも空調整備は重要課題と認識し、計画的整備を進めていきたい。**

問　市民に寄り添う生活環境の整備は市長公約である。教育環境と防災機能強化は市長公約では。

答　**学びの環境の整備、災害時に機能する街づくりは公約である。国の財政支援と今後の財政状況を見極め適時適切に判断する。**

問　修学旅行等の重要行事を身体的なバイオリズムを考慮せずに決定している。女子生徒は月経移動など身体的・精神的・金銭的負担を自己責任で背負い体調不良でも成績等を心配しひたすら我慢し登校する。深刻な「隠れたカリキュラム」が存在する。どの様な現状認識をしているか。

答　**学校全体で理解し支援を行う視点を持ち、可能な限りの配慮が重要と考える。ジェンダー平等の視点で学校づくりを進める。**

問　MCI（軽度認知障がい）改善活動が介護給付費削減効果（年13億から16億円抑制）になる。地区行政センターの有料化は慎重に考えるべきでは。

答　**今後の使用料のあり方については総合的に見極めていく。**



MCＩ予防（本人作成）



パタソンひとみ（参政党）

防災対策　熊対策
山間地域振興　道路交通騒音
緊急財政対策

問　気象が急変する昨今の災害により迅速な情報伝達や連絡体制が重要になると思うが対策は。

答　**防災行政無線、市ホームページを基本に情報伝達手段の再構築が必要。自主防災会への電子メールを活用した発信も検討する。**

問　情報取得手段の確保のために、行政センターにテレビの設置を。

答　**最新の情報が繰り返し流れるなど利点はあるが、全庁的な取り組みとして検討することになる。**

問　名栗小学校付近に出没したクマの今後の対策について。

答　**危険性が高まる場合には、国の財政措置の活用や関係部署と協議しながら児童生徒の安全確保に向けた検討を行なっていく。**

問　旧名栗中学校、旧吾野小学校の跡地利用は山間地域のまちづくりに大きく関わり期待されているが、現状と今後について。

答　**様々な分野から12者のお問合せが来ており、段階的に検討を進め、具体的な事業化に向けて進めていく。**

問　道路交通騒音と交通安全上の両面の対策で道路交通騒音問題に有効な対策の検討は。

答　**関係部署と連携し騒音の主な原因の不正改造車両等合同街頭検査を実施し成果を挙げている。**

問　緊急財政対策の要因の一つの大きな収支乖離への予算編成対策。

答　**財政調整基金の活用も含め限られた財源の中で枠配分方式を導入し収支乖離に取組んでいく。**

令和８年５月２９日より
気象の警報などが大きく変わりました

	河川氾濫	大　雨	土砂災害	高　潮
警戒レベル５相当	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報
警戒レベル４相当	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報
警戒レベル３相当	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報
警戒レベル２	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報
警戒レベル１	早期注意情報			

出典：国土交通省気象庁HPより

警戒レベル警報（出典：国土交通省気象庁ＨＰ）



小野　まり（シビックプライド飯能）

緊急財政対策プラン完了
自治会情報のDX化について
過疎地域の投票機会について

問 緊急財政対策プランが完了するということは、その目標を達成したということになる。今後は緊急財政対策で削減した行政コストや廃止・縮小した事業規模が適正だったのか等について評価検証を行う必要がある。その上で必要な事業であれば以前の状態に戻すことが望ましいと考えるが市の見解は。

答 歳入規模に見合った歳出予算を編成していくに当たっては、基本的に令和8年度、多くの事務事業の見直しを実施した今現在の状態をベースとしつつ、引き続き歳入と歳出のバランスに注意を払っていく必要がある。

問 自治会情報のDX化、特に回覧板のデジタル化に向けた計画はあるか。

答 他市の先進事例を参考にしながら自治会情報のDX化について、自治会とともに調査研究していきたい。

問 移動式期日前投票所で過疎地域の投票機会を確保する自治体もある。吾野地域、名栗地域でも実現に向けて検討してほしいが。

答 直ちに移動式期日前投票所を設営することは難しい状況だが、住んでいる地域によって、投票機会に格差が生じることのないよう、先進自治体の事例等を参考にし、引き続き投票環境の向上に努めていきたい。

投票所がやってくる！移動期日前投票所で過疎地域の投票機会を確保する。



島根県浜田市の移動期日前投票の様子



出典：ジチタイワークスVol.23(2022年12月発行)

出典：ジチタイワークス



金子　敏江（日本共産党）

「緊急財政対策」令和7年度決算は黒字　貯め込んだ基金は、市民に再分配を

問 令和7年度予算編成時に「緊急財政対策」と言っていたのは令和8年度予算編成に向けて、12億円規模の事務事業の見直しという大ナタを振るい、次の行政改革を推進するための「地ならし」であったのではないか。事実、令和7年度は18億8千万円の黒字。令和8年度は、12億円削減したが、年度末には20億円超の黒字となる見通しだ。今後、行革（公民館の有料化や小中学校の統廃合など）を進めるための「財政危機」宣伝であったのではないか。そのために市民は、本当に飯能市は財政が厳しいと思っている。なぜ、市民福祉を削ってまで財政調整基金の積み上げにこだわるのか。貯め込んだ「基金」を市民の福祉・暮らしに再分配すべきと考えるがいかがか。

答 財政調整金は、標準財政規模の10％を目指している。15％、20％と際限なく積み立てる考えはない。積み増しして貯める一方ではなく、一定の残高水準を維持しながら必要に応じて活用することを考えている。令和9年度予算編成は、令和8年度をベースにしながらも一般財源規模を増額して各課へ枠配分をしたところ。財政調整基金は予算編成において、市民の福祉や暮らし、市民生活の向上と行政サービスの提供を図る財源として活用していきたい。



もっとはんのう市議会
令和8(2026)年
11月1日号
No.181



飯能まつり市民マルシェ　飯能中央通り商店街より

次回の12月定例会は

11月27日開会予定

会期日程等は11月24日頃内定します。

夢と馬と議会を学ぼう



議会を見よう！

本会議の映像を録画配信しています。

議会を聴こう！

本会議や委員会は公開しています。

議会を読もう！

本会議の会議録を公開しています。

議会を調べよう！

会議情報を掲載しています。

編集後記

秋の深まりとともに、飯能のまちにもさまざまな表情が見えます。9月定例会では、令和7年度の決算を審査しました。決算審査は、市民の皆さんからお預かりした大切な税金がどのように使われ、どのような成果につながったのかを確認する大切な機会です。数字の一つひとつの向こうには、子育て、教育、福祉、防災、道路やまちづくりなど、日々の暮らしがあります。「市議会って何をしているの?」と思ったときは、ぜひ「もっとはんのう市議会」を開いてみてください。これからも、市議会をもっと身近に、もっと分かりやすく、皆さんとの声と議会の議論がつながり、飯能のこれからを一緒に考えるきっかけになればうれしく思います。

(熊田)

広報委員　委員長　長谷川順子
副委員長　パタソンひとみ
委員　小野　まり　山口　則弘
美齊津大貴　熊田　尚子
武田　一宏　鳥居　誠明

表紙の風景



林業センターでは、毎月２回、木のおもちゃで遊んだり工作などができる「もくもくひろば」を「NPO法人子育て応援ゆう」により開催しています。子どもも大人も、木の温もりあふれる空間で、心地よいひとときを過ごしてはいかがでしょうか。

(長谷川)

ボートレース戸田開催日（埼玉県都市ボートレース企業団主催分）11/12~11/15、12/9~12/14、12/27~12/31、1/16~1/21、1/24~1/27
お問い合わせ先　埼玉県都市ボートレース企業団事務局　TEL048-823-8711　（収益の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。）

《発行》飯能市議会
UD ONT
☎042-973-2111（内線4102）《編集》市議会広報委員会　飯能市大字双柳1-1
※ユニバーサルデザイン（UD）の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。